

令和元年度 学校評価

本年度の重点目標		<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の障害特性に基づいた支援の方法と授業づくりを推進する。 ・児童生徒にとって安心安全で健康的な環境をつくる。 ・業務の効率化を図り、児童生徒と向き合う時間を増やす。 		
項目(担当)		重点目標	具体的方策	留意事項
総務部	教育環境の整備	・備品等必要物品の購入による教育環境の整備	・消耗品や備品等について、校務及び各教科・領域等主任より購入希望を募り、計画的な購入の定着を図る。	・校務及び各教科・領域等主任より広く意見を聞き、重要度の高い物から購入する。 ・今回の手続きの進め方、保管・管理方法を共通理解し、定着するようにする。
	業務の効率化	・学校に関する事務の適正化と効率化を図る	・校務分掌と連携し、内規集の編集や活用を行う。	・利便性の向上に向け掲載内容を見直したり、精査したりする。新内規集を積極的に活用してもらうため職員に周知する。
教務部	障害特性に基づいた支援方法	・12年間を見通した教育課程の編成	・新学習指導要領を基に教育課程を編成し、自立活動の時間における指導の充実を図る。	・自立活動部、研究部と連携して自立活動の時間における指導の具体的な実施方法や内容の検証、改善を図る。
	業務の効率化	・個人ファイルの有効的な活用	・MS-EXCELのブックで統一した個人ファイルを活用し、複数の諸帳簿を効率的に作成できるようにする。	・記入上の留意点をまとめ、職員に周知する。 ・入力した際の不具合を集約して対処する。
生徒指導部	障害特性に基づいた支援方法	・基本的な生活習慣の定着	・挨拶の習慣、身だしなみに対する意識の向上を図る。	・年5回の「あいさつ運動」を実施し、実施後の反省と次回の活動に向けた話し合いを行い、意識の向上を図る。
	安全指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・防災体制の充実 ・いじめの未然防止 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内防災備品の整備と掲示を進める。 ・生活アンケートの内容を見直す。連絡帳や保護者への聞き取りから家庭での様子や変容を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・置き場所や掲示方法を工夫し、誰でもがわかるようにする。各学期末に備品の点検をする。 ・いじめの定義と防止基本方針を職員へ周知徹底し、いじめの兆候を見逃さないようにする。担任等と連携し、早期に対応する。
進路指導部	障害特性に基づいた支援方法	・校内実習、現場実習の充実	・外部からの委託作業を積極的に取り入れるようにする。	・企業や福祉事業所との連携を密にして、請け負える作業を検討し、取り入れることで、職員及び生徒の働く意識を高める。
保健体育部	障害特性に基づいた支援方法	・性に関する支援・指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・「性に関する支援・指導」についての情報を職員へ提供する。 ・性に関する諸問題について保護者と連携して取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「性に関する支援・指導」についての講演会等を計画し、職員が研修を行う機会を設定する。 ・学校保健委員会の取組や家庭で参考となる内容を保健だよりで紹介する。
	安心安全な環境作り	<ul style="list-style-type: none"> ・安心安全な保健管理の推進 ・緊急対応の定着 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健関係の手引きの周知、徹底を行う。 ・緊急対応カードと校内電話を活用できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・服薬管理、エピペンの対応、食品取扱いの衛生管理等について伝達を行ったり、新内規集を活用して周知したりする。 ・各学期に緊急対応カードや校内電話を活用したシミュレーション訓練を行い、緊急時の対応について定着を図る。

研修部	障害特性に基づいた支援方法	・職員研修の充実を図り、指導力向上につなげる。	・eラーニングを含むセンター研修を職員に周知する。	・研修案内や免許更新講習に係る通知事項などを、掲示板や校内webを活用し、周知する。 ・校内研修では、教育上の課題に対応する内容を取り入れる。
	業務の効率化	・業務内容の整理と引き継ぎ資料の整備	・業務の見直す点を見つけ、効率化を図る。	・担当をなるべく複数名で行うようにし、業務内容の偏りをなくし、改善点を見付ける。
研究部	障害特性に基づいた授業づくり	・自立活動の時間における指導についての校内研究の推進	・児童生徒の障害の特性や状態、発達段階等から目標を設定し、根拠ある自立活動の授業を考える。 ・自立活動の時間における指導の授業のイメージを広げる。	・研究日を中心に、児童生徒の課題を振り返り、授業の目標や進め方について話しあい理解を深める。 ・研究部たよりで参考になる実践事例等を紹介したり、参考になる書籍等を紹介したりする。
	業務の効率化	・蔵書の電子管理化による業務の負担軽減と、図書室利用の推進	・蔵書の電子管理化を進め、貸出業務や管理業務の効率化を行う。	・職員向けマニュアル、児童生徒用マニュアルを作成し、使用方法の周知を行う。
図書部	安心安全な環境作り	・校内の掲示板掲示物のルールの定着	・掲示板についての定期的な点検や行事ごとに掲示する際のルール確認を行う。	・適宜ルールを更新すると共に、校内webやメソフィアでの啓発活動を行う。 ・教職員に掲示のルールを徹底するため、行事や職員清掃などの機会を利用して、掲示板の点検を行う。
	障害特性に基づいた支援方法	・ICTを使用した授業の推進と内容の充実	・ICTの整備や購入計画をすすめ、授業等で使いやすく有効な環境作りを行う。 ・情報機器やアプリを利用した効果的な指導方法を提案する。	・校内Web等を活用し、ICT機器の使用方法などを分かりやすく提示する。
情報部	安心安全な環境作り	・個人情報漏えい防止	・重要度Aの情報の取り扱いを始めとする情報セキュリティ対策の徹底を図る。	・本校の情報セキュリティポリシー及び別冊を新内規集に掲載する。
	障害特性に基づいた支援方法	・専門性の向上	・教育支援部会で、相談ケースの検討を行う。 ・教育支援部内研修で、支援方法や教材の紹介を行う。	・巡回相談、ふれあい相談、校内支援のケースについて、教育支援部会で検討を行う。 ・紹介した内容を教育支援だよりで校内に発信していく。
自立活動部	障害特性に基づいた授業づくり	・自立活動の理解啓発と授業作りの推進	・PDCAサイクルの視点に基づいた授業づくりを進める。 ・自立活動で利用できる教材・教具を紹介するとともに、活用の方法を知らせる。	・子供たち一人一人が自立活動の各題材を学ぶ意味を押さえた授業を行うことができるように、「授業記録」や「共通理解シート」を使い常に検証していくよう促す。 ・共通教材庫の教材を自立活動の区分ごとに再編し、一覧表を作成する。 ・夏季職員自主研修会で教材展示会を行ったり、たよりにて教材活用の事例を紹介したりする。
	学校関係者評価を実施する主な項目		<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の障害特性に基づいた支援・指導の充実 ・児童生徒にとって安心安全で健康的な環境の整備 ・業務の効率化による業務改善の推進 	